



全労連 憲法闘争ニュース 速報版

<http://www.zenroren.gr.jp/> TEL 03-5842-5610 FAX 03-5842-5620 No.29

戦争法案ゼツタイ廃案！ 参院議員への要請を強めよう 戦争法案 27日参院で審議入り

参議院で戦争法案を審議するための特別委員会は、野党の全ての会派が参加して設置されることになりました。

参議院では自民・民主両党の国対委員長が会談し、特別委員会の委員は45人とし、議員数2人の「新党改革・無所属の会」会派にも自民党枠から1人分をゆずり、同特別委員会には参院の11会派すべてが参加することになりました。

法案の審議入りを含めた日程については、24日の参院本会議で同特別委員会が設置され、27日の本会議で戦争法案の趣旨説明と質疑、28、29両日には特別委員会での質疑がそれぞれ行われる見通しとなりました。

28、29両日の特別委員会は、安倍晋三首相の出席とテレビ中継のもとで質疑が行われる見込みです。野党側は3日間の首相出席質疑を求めており、与党側は「努力する」と回答しています。また与党は野党の求めに応じ、早期に予算委員会を開くと答えています。

戦争法案 廃案への展望を語る 共同通信社・論説研究会で日本共産党・志位委員長が講演

日本共産党の志位和夫委員長は22日、共同通信加盟社・論説研究会で講演し、「これからのたたかいで戦争法案を廃案にすることは可能だ。参院での論戦、野党共闘、国民との共同で、何としても廃案を勝ち取りたい」と今後のたたかいの展望を語りました。同研究会には、全国から共同通信加盟各社の論説委員などが集まりました。

志位氏は、国会論戦で明らかになった戦争法案の問題点を「違憲性」「対米従属性」「歴史逆行性」の三つの角度から鋭く告発。同党の「北東アジア平和協力構想」を紹介し、「これこそ戦争法案に対する、憲法9条を生かした真の平和的対案です」と強調しました。

戦争法案廃案に向けた三つの展望

第一は、「法案には『自然成立』はない」ということです。

志位氏は、一部メディアのなかに、「60日ルール」を強調し、「安保法案は成立へ」などと「成立」を当然視して報じる動きを批判。予算案や条約と異なり法案には「自然成立」がないこと、政府・与党が戦争法案を成立させるには参院での強行採決か、衆院で強行再議決しかないと指摘。強行採決を許さない国民世論が圧倒的多数となり、内閣支持率をさらに下落させる状況をつくれれば、安倍政権は立ち往生し、採決不能に追い込むことは可能だと力をこめました。

第二は、戦争法案反対の国民の運動が空前の広がりを見せているということです。

若者の行動、憲法学者、研究者、歴代元内閣法制局長官などの反対の声の画期的な広がりにもふれた志位氏は、「いま広がりつつある国民運動は、その広さでも、深さでも、一人ひとりが創意性・自発性をもって参加しているという点でも、戦後70年の国民運動でも空前のものとなっています。9条を守るといふこととともに、民主主義、立憲主義を守り、独裁政治を拒否するという点でのエネルギーがきわめ

て大きいことを感じます」と強調しました。

第三は、安倍政権そのものが大きく行き詰まっていることです。

安倍首相がテレビ番組に出演し、戦争法案について、「模型」まで使って、「戦争」を「火事」にたとえて説明していることに言及。『火事』なら火を消せば済むが、『戦争』では武力行使をすれば反撃される。こんな話しかできないということは、首相が戦争法案について説明する能力がないことを自ら告白しているようなものです」ときびしく批判しました。

さらにこの夏、安倍政権が、沖縄新基地問題、原発再稼働、環太平洋連携協定（TPP）、歴史認識問題などあらゆる問題で、国民との矛盾を大きく広げざるをえないことを指摘し、「夏のたたかいはまさに正念場。国民とスクラムをくみ、党の総力をあげて、廃案のために全力をつくしたい」と決意を語りました。

学生と教職員に広がる 戦争法案反対

共同の集会や声明 18 大学に

憲法違反の戦争法案を廃案にするために、学生と学者・教職員の共同の運動が広がっています。

東京大学と京都大学で学生と教員有志が学内集会を開催。明治学院大学では教職員有志が声明を発表し賛同は 242 人（16 日）に広がっています。声明発表後、『声明』を語る会」を企画。教室で昼食を食べながら気軽に語り合っています。今までに 5 回開催され、のべ 200 人以上が参加しています。

教職員有志で戦争法案に反対する声明を出した大学（一部で学生との共同含む）

○札幌学院大学、茨城大学、国際基督教大学、東京大学、東京学芸大学、東京農工大学、明治学院大学、和光大学、早稲田大学、獨協大学、日本福祉大学、長野大学、京都大学、同志社大学、立命館大学、島根大学、山口大学、西南学院大学（7 月 20 日現在）

お知らせ

安保関連法案に反対する学生と学者による共同行動

日時：7 月 31 日（金）17：00～

集合：砂防会館 1 階大会議室（簡単な集会後デモ）

内容：（1）学生と学者の共同集会

17：00～ 学生・学者共同集会

17：40～ 学生・学者デモ（砂防会館→自民党本部→参・衆→日比谷公園）

（2）学生と学者と市民の共同集会

18：10～ 第 2 波集会（学生・市民集会）

18：40～ 学生と学者と市民デモ（砂防会館→自民党本部→参・衆→日比谷公園）

（3）国会前抗議行動

19：30～21：30 国会正門前北庭側

※17 時からは学生と学者のみ。一般の方は（2）18：10～第 2 波に参加を

主催：安全保障関連法案に反対する学者の会

HP⇒ <http://anti-security-related-bill.jp/>

SEALDs（自由と民主主義のための学生緊急行動）

HP⇒ <http://www.sealds.com/#upcoming-actions>

STOP! 違憲の「安保法制」 講師団結成 全国の学習会へ派遣

憲法研究者共同ブログ <https://antianpo.wordpress.com/>

全国の憲法研究者有志は11日、戦争法案への反対運動に役立つ情報発信などのために、インターネット上で「STOP! 違憲の『安保法制』憲法研究者共同ブログ」を立ち上げ、全国各地の学習会へ派遣する全国出前講師団を結成しました。講師団は64人（7月21日現在）。

<憲法研究者共同ブログより>

「安保法制」と言われても、何だかよくわからないという皆さん、憲法研究者を囲んで、法案の内容について学びながら、ともに考えてみませんか。

今回出されている法案はとても複雑で、すぐには理解できないかもしれません。日頃から憲法を研究している私たちは、その理解のお手伝いをするために〈全国出前講師団〉を結成しました。

全国津々浦々、どこへでも、何人の集まりでも、講師を「出前」します。「そんなこと言われても、どうしていいのかわからない」という場合も、まずはお気軽にご相談下さい。ご要望に応じて、「安保法制」と憲法を学ぶ会をアレンジいたします。

1. 「出前」依頼の要領

(1) 全国の地域ごとに連絡窓口をおきますので、学習会の開催地域に応じて、窓口担当者までご連絡下さい。窓口担当者と連絡先は以下の通りです（#を@に変えて下さい）。

- ・東北：河合正雄（弘前大学講師） kawaim@hirosaki-u.ac.jp
- ・関東：中川 律（埼玉大学准教授） rnakagawa@mail.saitama-u.ac.jp
- ・甲信越：成澤孝人（信州大学教授） narisawa@shinshu-u.ac.jp
- ・東海：大河内美紀（名古屋大学教授） om0503@outlook.com
- ・関西：奥野恒久（龍谷大学教授） okuno@policy.ryukoku.ac.jp
- ・九州・沖縄：大野友也（鹿児島大学准教授） onotomoy@leh.kagoshima-u.ac.jp
- ・その他：本 秀紀（名古屋大学教授） moto@law.nagoya-u.ac.jp

電話相談窓口（平日：13時～18時、休日：14～17時）

080.5547.4152 三輪 隆

080.1052.7714 稲 正樹（国際基督教大学客員教授）

(2) 窓口担当者には、率直な要望をお伝え下さい。以下のことで決まっていることがあれば、それもお書き添えいただけると幸いです。

- ・開催日時、場所、講演時間
- ・主催者名、連絡先、催し物名、講演テーマ、講師への注文
- ・講師の希望がある場合は講師名

(3) 派遣可能な講師が決まりましたら、窓口担当者からお返事させていただきます（調整に一定の日数がかかることをご了承願います）。

(4) 講師料は相談に応じます（最低限、交通費等の負担はお願いいたします）。

2. 講師団名簿

（ホームページをご覧ください）

<https://antianpo.wordpress.com/%e6%86%b2%e6%b3%95%e7%a0%94%e7%a9%b6%e8%80%85%e3%80%88%e5%85%a8%e5%9b%bd%e5%87%ba%e5%89%8d%e8%ac%9b%e5%b8%ab%e5%9b%a3%e3%80%89%e3%82%92%e7%b5%90%e6%88%90%e3%81%97%e3%81%be%e3%81%97%e3%81%9f/>

戦争法案 NO! 行動予定

※主催団体名のないものは総がかり行動実行委員会主催です。

23日(木)

- ◆戦争法案廃案！強行採決反対！第10回国会前木曜連続行動 衆院第2議員会館前 18時半～19時半
*全労連など憲法共同センターは参院議員会館側

24日(金)

☆中央行動 主催：春闘共闘・全労連

- 12:15～ 決起集会（日比谷野音）
13:15～ 厚労省前・人事院前 要求行動
14:30～ 国会請願デモ
15:30～ 議員要請（戦争法案・派遣法）など

↓ ↓ ↓

★安倍政権 NO! 0724大行動 主催：安倍政権NO! ☆実行委員会

- 18:30～19:30 日比谷野音集会
19:00～21:00 官邸包囲・官邸抗議

26日(日)

- ◆戦争法案廃案！国会包囲行動 14時～15時半 国会周辺
*全労連など憲法共同センターは、国会図書館前

28日(火)

◆戦争法案廃案！強行採決反対！7・28大集会・国会請願デモ

*集会＝18時半～ 日比谷野音 *集会と並行して国会請願デモ＝18時45分出発

30日(木)

☆全労連・評議員会

- ◆戦争法案廃案！強行採決反対！第11回国会前木曜連続行動 衆院第2議員会館前 18時半～19時半
*全労連など憲法共同センターは参院議員会館側

31日(金)

☆全労連・評議員会

◆安保関連法案に反対する学生と学者による共同行動 主催：安全保障関連法案に反対する学者の会
砂防会館1階大会議室(簡単な集会後デモ)

- (1)学生と学者の共同集会 17:00、デモ 17:40～(砂防会館→自民党本部→参・衆→日比谷公園)
(2)学生と学者と市民の共同集会 18:10 デモ 18:40～(砂防会館→自民党本部→参・衆→日比谷公園)
(3)国会前抗議行動 19:30～21:30 国会正門前北庭側

8月4日(火)、11日(火)、18日(火)、25日(火)

- ◆とめよう！戦争法案 毎週火曜日いっせい宣伝行動 全国各地
*憲法共同センターは、都内8カ所
新宿東口・巣鴨駅・四谷駅・上野マルイ前・御茶ノ水駅の5カ所は、18時～19時
茗荷谷駅(12時半～13:15)・西新橋1丁目交差点(17時半～18:15)・大塚駅(12時半～13時)

8月5日(水)

主催：国民大運動実行委員会など3団体

- ◆定例国会行動 12:15～13時 衆院第2議員会館前

8月6日(木)、13日(木)、20日(木)、27日(木)

- ◆戦争法案廃案！強行採決反対！国会前木曜連続行動 衆院第2議員会館前 18時半～19時半
*全労連など憲法共同センターは参院議員会館側

8月9日(日)

◆「9の日」大行動 全国各地で

- *憲法共同センター、東京共同センターは、新宿駅西口 10:30～12:00